

# 学術活動情報

## 1. 2017年第26回国際フェミニスト経済学会年次大会 東アジア特別セッション参加報告

伊田久美子（大阪府立大学）

2017年度国際フェミニスト経済学会（International Association for Feminist Economics）は、6月29日から7月1日の日程で、ソンシン女子大学（韓国ソウル市）にて開催された。韓国での開催という機会を活かして、学会のホスト団体である韓国女性経済学者協会（The Korean Women Economists Association）と日本フェミニスト経済学会の協力により、東アジア特別セッションをコーディネートするという画期的な取り組みが実現した。

特別セッションは6月30日のほぼ全日を使って開催された。セッションは三部で構成され、それぞれ韓国と日本の報告者及び討論者が参加し、韓国の研究者たち、また各国からの参加者たちと活発な研究交流を行うことができた。

日本サイドの登壇者は以下のとおりである。

### ○第1セッション「東アジアにおけるマクロ経済学とジェンダー」

司会：申キヨン（お茶の水女子大学）

報告：長田華子（茨城大学）

“Economic Growth, Industrialization And Gender in Bangladesh”

: 大沢真理（東京大学）

“Comparative Gender Analysis of Net Burden of Tax and Social Security Contributions, with focus on Japan”

討論：足立真理子（お茶の水女子大学）

### ○第2セッション「東アジアにおける労働とジェンダー」

報告：金井郁（埼玉大学）・申キヨン（お茶の水女子大学）

“Gendered Structure of Family Finance and Women’s Survival Strategy: A Comparative Case Study of Life insurance in Japan and South Korea”

討論：山田和代（滋賀大学）

### ○第3セッション「東アジアにおける文化とジェンダー」

報告：伊田久美子（大阪府立大学）

“Neoliberalism and Feminism: From the Viewpoint of Women’s Agency”

特別セッションのプログラムは次のとおりである。

**Program of Events | 26<sup>th</sup> IAFFE Annual Conference**  
**Sungshin University, Seoul | June 30, 2017**  
**(SUNGSHIN KWAN, ROOM 302)**

<b>PROGRAM AGENDA</b>		
8:00am-5:00pm	Registration (Smart Space, 5th floor)	
10:20am-10:40am	Moderator	Yun Jeong Choi, Yonsei University
	Opening Remarks	Eun Hyung Lee, President, Korean Women Economists Association
	Congratulatory Message	Myung-Sun Lee, President, Korean Women's Development Institute
Session I 10:40am-12:30pm	<b>MACROECONOMICS &amp; GENDER IN EAST ASIA</b>	
	Chair	Ki-young Shin, Ochanomiz University
	Presentations	" <i>Macroeconomic Inquiry to Korean Low Fertility Issue</i> " Young Ock Kim, Korean Women's Development Institute
		" <i>Economic Growth, Industrialization And Gender in Bangladesh</i> " Hanako Nagata, Ibaraki University
		" <i>Comparative Gender Analysis of Net Burden of Tax and Social Security Contributions, with focus on Japan</i> " Mari Osawa, University of Tokyo
	Discussants	Mariko Hadachi, Ochanomiz University
Jongsoog Kim, Korean Women's Development Institute		
12:40pm-1:40pm	<b>LUNCH BREAK</b> (Sooharu)	
Session II 1:50pm-3:40pm	<b>LABOR &amp; GENDER IN EAST ASIA</b>	
	Chair	Jin Hwa Jung, Seoul National University
	Presentations	" <i>Firm, Family Leave and Quitting in Korea</i> " Ka-Chung Boo, Korea Labor Institute and Myeong-Su Yun, Inha University
		" <i>Gender Division of Labour at Home in East Asian Welfare States</i> "

		Mi Young An, Kookmin University <i>"Effect of Career Discontinuity on Wage for Female Labor Force in Korea"</i> Sookhee Choi, HanYang Cyber University, Nan Jue Kim, Korean Women's Development Institute, and Mikyung Yun, The Catholic University of Korea <i>"Gendered Structure of Family Finance and Women's Survival Strategy: A Comparative Case Study of Life Insurance in Japan and South Korea"</i> Kaoru Kanai, Saitama University and Ki-young Shin, Ochanomizu University
	Discussants	Minwoong Ji, Korean Institute for Industrial Economics and Trade Kazuyo Yamada, Shiga University
3:40pm-4:00pm	<b>BREAK</b> (Smart Space, 5th floor)	
Session III 4:00pm-5:50pm	<b>CULTURE &amp; GENDER IN EAST ASIA</b>	
	Chair	Insill Yi, Sogang University
	Announcement of Major Policies for Women in Seoul	Kyusook Um, Assistant Mayor, Women & Family Policy Affairs of Seoul Metropolitan Government
	Presentations	<i>"Neoliberalism and Feminism: From the Viewpoint of Women's Agency"</i> Kumiko Ida, Osaka Prefecture University <i>"Liberation Confined to Home: The Nature of the Advocacy of Liberation for Women in Japanese Film Melodrama under the U.S. Occupation"</i> Bokyoung Kim, Korea University <i>"Work-Life Issues of Women Expatriates: Case Studies"</i> Mina Lee, Xavier University
		Discussants
		Wiroy Shin, Korea Institute for Industrial Economics and Trade Sunyoon Lee, Hongik University
7:00pm	Conference Dinner (Catch the bus to Woonjung Campus at the front gate of the University)	

このセッションの意義は、東アジアにおけるフェミニスト経済学研究のネットワークの立ち上げである。フェミニスト経済学は男性標準の経済学への批判の学であるが、同時に欧米を標準としてきた学の在り方に対する異議申し立てとしての展開も、その特色の一つである。また狭い従来経済学にとどまらず広く関連分野に開かれた学際的展開が目指されており、その観点からも今回のセッションは意義深いものであったと言える。

個人的な感想を付け加えると、コンファレンス・ディナーの時に Iaffe 幹事のお一人から報告への感想をいただき、細分化された研究ばかりでなく、より俯瞰的視野に立った研究の必要性について意

見交換をすることができたことが有意義であった。芸術学部を擁するソンシン女子大学の学生や教員によるディナーの後の演奏や伝統舞踊も印象的であった。

このセッションはIAFFE正会員である足立真理子会員が窓口となって準備し、申キョン会員にも尽力いただいた。ここに記して感謝したい。

なお本学会会員の個人報告は以下のとおりである。Iaffe年次大会は各国の研究者との貴重な交流の機会であり、今後とも会員の積極的な参加を期待したい。

以下個人報告

- ・ 中原朝子（神戸大学）  
“Understanding the Quality of Life of Yong Women: Focusing on Self-esteem and the Fear of Violence.”
- ・ 石塚浩美（産能大学・短期大学）  
“Empirical Analyses of Substitution and Complementarity of Labor Demand for Men and Women, and Factor of the Gender Wage Differentials in Japan, South Korea and China’s Enterprises: Identifying Economic Policies for Labor Market Reform in Japan”
- ・ 林亜美（お茶の水女子大学大学院）  
“Impact of Job Training to Female Participants: Focusing on Job Seeker Support System in Japan”
- ・ 李亜姣（お茶の水女子大学大学院）  
“Present and Future of the Rural Women’s Protest Movements in China’s Land Exploitation: the Forced Closure of a Women’s Legal Aid Center”
- ・ 小川真理子（大妻女子大学）  
“Support for Female Victims of Domestic Violence in Miyagi Prefecture, Japan after the Great East Japan Earthquake”



写真はソンシン女子大学芸術学部の教員と学生による古典舞踊



特別セッション風景

## 2. 第2回東アジア日本研究者協議会学術大会における学会パネル参加報告

伊田久美子（大阪府立大学）

2017年10月27日から29日の3日間、中国の天津で東アジア日本研究者協議会学術大会が開催された。この新しい国際学会は、ソウル大学日本研究所の呼びかけで立ち上げられ、前年に第1回が仁川（韓国）で開催された。今回はそれに続く第2回の開催で、天津の南開大学日本研究院が事務局を担当し、3日間で40のパネルセッションが行われた。セッションは研究機関のパネル報告、大学院博士後期課程院生による次世代パネル、個人報告を構成した自由報告パネルで構成され、次世代パネルに選抜された博士後期院生の報告者には参加費免除と旅費支給という制度があり、本学会の大学院生会員をはじめ、アジア各国の大学院生の積極的な参加が見られた。

今回日本フェミニスト経済学会は研究機関として「震災復興におけるジェンダー課題と女性のエンパワーメント」と題して、パネル報告を行なった。

### ○「震災復興におけるジェンダー課題 女性のエンパワーメント」パネル

2011年3月の東日本大震災後、日本では阪神大震災の経験をふまえて災害復興におけるジェンダー視点の必要性が指摘されてきた。震災後6年を経た今日、女性の生活はどのように変化し、どんな課題が残されているのだろうか。

本パネルでは、震災後の東北地方でのいくつかの調査結果から、女性の生活の現状と課題を明らかにし、さらに災害などの極限状況において日常生活に隠れたジェンダー・バイアスが顕在化するという認識の下、日本社会に共通の課題として災害復興課題についての議論を深めたい。このパネルは以下の文部科学省研究補助金と共催である。

- ・ 科研基盤研究 A：災害・危機へのレジリエンスをジェンダー化する一日独の対比に焦点を当てて  
（代表：大沢真理）
- ・ 科研基盤研究 B：被災者支援レジーム / 復興まちづくりの国際比較研究（代表：山地久美子）  
司会：大沢真理（東京大学）  
報告 1 長田華子（茨城大学）  
震災以降の東北縫製産業における女性の就労とエンパワーメント—岩手県北地域を事例に  
報告 2 小川真理子（大妻女子大学）  
震災と DV 被害女性：宮城県の民間シェルター調査を通して  
報告 3 李善姫（イ ソンヒ）（東北大学）  
東北の外国人移住女性たちの被災と復興——被災 3 県を中心に  
討論者 1 伊田久美子（大阪府立大学）  
討論者 2 新井美佐子（名古屋大学）

○次世代パネルへの個人報告

高橋加織（お茶の水女子大学大学院）

アジアで働く現地採用日本人女性の接客サービス労働過程について

Galsanjigm ed Enkhzul（大阪府立大学大学院）

モンゴル国における日系企業の人事制度に関する事例研究—女性の働き方を中心に—

林亜美（お茶の水女子大学大学院）

現代日本の女性に対する職業訓練の意義—非経済的価値からみた生活の質の変化

この会議はアジア各国の日本研究者が人文学から社会科学、経済学まで、幅広く交流できる学際的な研究交流の場を提供する者であり、パネル報告を通じて日本フェミニスト経済学会を様々な分野の研究者に知ってもらうことができたと思う。

東アジア日本研究者協議会はアジアの日本研究がアジアにおいて日本語を使用言語として交流することを目指して立ち上げられた国際学会であり、また若手研究者の育成にも尽力する方針を持っている。次回は京都で国際日本文化研究センターが、その次は台湾での開催が予定されている。

（写真は、上から大会総会、南海大学日本語学科訪問）

